

## 事前評価個表

整理番号	24
------	----

地域（地区）名	筑後・矢部川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福岡県	対象市町村	久留米市ほか9市町村
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、福岡県の中央部から南部に位置し、南西部は有明海に面し、西部は佐賀東部森林計画区、北西部は福岡森林計画区、北東部は遠賀川森林計画区、東部は大分西部森林計画区、南部は白川・菊池川森林計画区に接している。</p> <p>本地区の森林面積は67千ha（森林率41%）、対象民有林は61千ha（森林全体の91%）、うち人工林面積は46千ha（人工林率75%）となっている。人工林の齢級構成は、木材として利用可能な9齢級以上のスギ・ヒノキ林面積が全体の75%を占め、人工林資源は利用期を迎えており、増大する資源の利用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>本地区は、日田林業の流れをくむ「サシスギ」を中心とする多品種造林が行われ、全国的にも優良林業地として知られる八女林業地域を形成してきた。また、うきは・朝倉地域は多数の製材工場が存在し、県内木材産業の中心地となっている。このような背景から本地区では、近年のウッドショックの影響等もあり主伐量が著しく増加しており、再造林の推進が重要となっている。</p> <p>また、平成29年7月九州北部豪雨では、多数の山腹崩壊や河川の氾濫等が発生するとともに、大量の流木が発生している。本地区は豪雨による被害を受けやすい地域であるため、水源涵養や山地保全等といった公益的機能の高度な発揮が求められている。</p> <p>このことから、森林経営計画等に基づいた主伐を推進するとともに、本事業により再造林や下刈り、間伐等の森林整備に併せ、これらの効率的な実施に不可欠な路網整備を一体的に推進することで、森林資源の循環利用や森林の有する公益的機能の維持増進を図ることとする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,850ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：5,604m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：8,253,020千円（税抜き7,502,745千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.99</p> <p>（総便益（B）=61,547,808千円、総費用（C）=12,336,027千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 森林資源の循環利用や森林の有する公益的機能の維持増進が求められる地域であり、保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見ても、適切な森林整備を実施する必要があることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 路網整備により効率的な森林整備を推進することとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 本事業を活用した再生林や下刈りといった適切な森林整備を実施することで、森林資源の循環利用や森林の有する公益的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 福岡県

地域(地区)名: 筑後・矢部川

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	16,489,447	
	流域貯水便益	4,188,636	
	水質浄化便益	17,060,026	
山地保全便益	土砂流出防止便益	13,619,965	
環境保全便益	炭素固定便益	4,118,355	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	11,374	
	木材利用増進便益	4,761	
	木材生産確保・増進便益	5,159,095	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	451	
	森林管理等経費縮減便益	410	
	森林整備促進便益	752,964	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	55,674	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	57,494	
	災害復旧経費縮減便益	22,225	
維持管理費縮減便益		6,931	
総 便 益 (B)		61,547,808	
総 費 用 (C)		12,336,027	
費用便益比	$B \div C = \frac{61,547,808}{12,336,027} = 4.99$		

森林環境保全整備事業 筑後・矢部川地域 概要図

